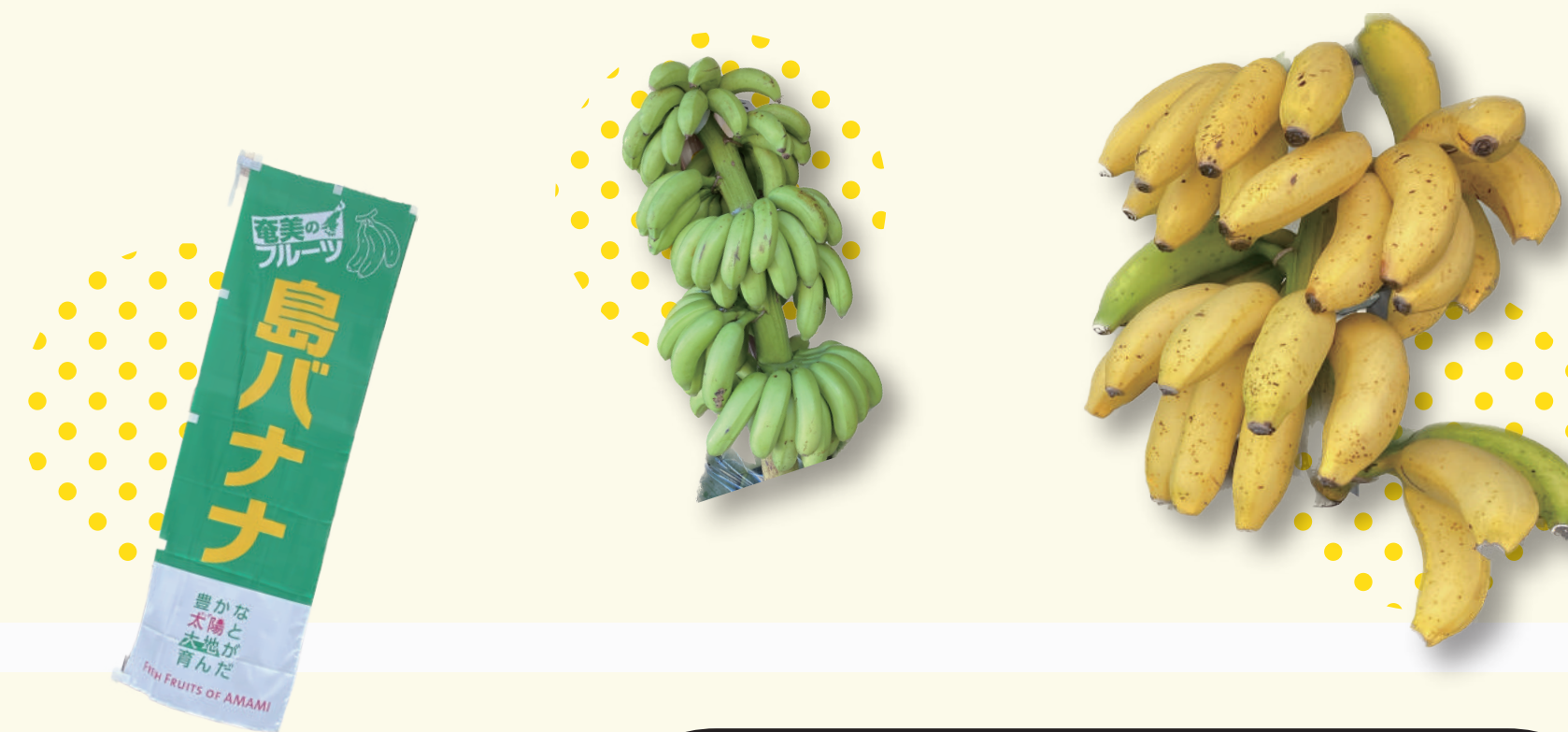


# 生産拡大が難しい島バナナの島外への知名度アップについて

法文学部  
法経社会学科 3年  
有村美治



## 動機

2年次に授業で奄美大島を訪れた際、島バナナを食べた。これまで食べてきたバナナとは全く異なる味わいや食感に驚いた。

## 課題意識

私はそのときに初めて島バナナの存在を知った。こんなにも美味しいのに、知名度が低いかもしれない？もっと多くの人に広めたいと思った。

## 問い

**島バナナを奄美大島の観光目的の1つとして台頭させるにはどうしたら良いだろうか。**

奄美大島の観光目的として、美しい海や自然、鶏飯などが思いつくだろう。そこに「島バナナを食べるために奄美大島に行く！」という目的が加わるくらい、島バナナの知名度を上げたい。

## 問いへの疑問

1 島内と島外における現時点での認知度は？

### 島内：非常に高い

「島バナナを知っているか？」という問いに対する、島民約15名の回答を得ることができた。結果、知らないと回答した方が1名いたが、他は皆島バナナを知っており、島バナナが好きだと言っていた。奄美大島の島民における島バナナの知名度は非常に高いことがうかがえた。

### 島外（鹿児島県本土）：低い

鹿児島市内にある、鹿児島のお土産や特産品を扱うお店を4店舗まわったが、奄美大島の島バナナやその加工品を見つけることができなかった。奄美大島では販売されていたので、島外においてはそれほど島バナナが浸透していないことがうかがえた。

2 そもそも島民は島バナナを有名にしたいのか？

島バナナをメインで販売する青果店の店主にインタビューしました。



有村

島民の大切な文化でもある島バナナですが有名にしたいと思いませんか？

元治青果店店主

**有名にしたいです！**

島民の大好きな島バナナをもっと島外の方にも食べてほしいと思います。観光客の方が初めて島バナナを食べたとき、その味わいや食感に魅了され、リピーターになる方も多いですよ。島バナナを通して、奄美大島のことを好きになってほしいです。

他にも、島バナナを使用した商品を展開している店主を3名取材した。そしてなぜ島バナナを使用しているのか、その理由を伺った。全員に共通していたのは**島の食材である島バナナを通して奄美大島を有名にしたい！という島への愛**だった。

## 島バナナの定義とは？

「島バナナを通して大好きな奄美大島を有名にしたい」という熱い想いが店主同士で共通していることがわかった。しかし、「何を持って島バナナとするのか？」という島バナナの定義には2つの考え方が存在することも同時にわかった。1つは、島バナナの在来種である小笠原種という品種のみを島バナナとする考え方。もう1つは、奄美大島で栽培・収穫されたバナナは全て島バナナとする考え方。前者は奄美大島で昔から食べられている品種で、後者は近年奄美大島に広まった品種も含んでいる。両者の特徴について整理した後、自身の考える知名度アップ方法を提案する。  
(※一般的にスーパーで販売されているのは、キャベンディッシュというフィリピンの品種である)

### 小笠原種

マレーシア原産で、小笠原諸島に渡った後、奄美大島に伝来したと言われている。小笠原諸島に渡ったとき既に品種がわからなかったため小笠原種という名がついた。

濃厚な**甘味**と爽やかな**酸味**を共に感じる。もちっとした食感も特徴。完熟ギリギリで収穫した、とれたての状態が最も美味しい。

害虫、寒さ、雨、風に弱いため、台風が多い奄美大島で安定して栽培することは難しく、**島外にほとんど流通していない**。島内で販売される島バナナに関しても、その多くが畑の隅で他の作物のおまけで収穫されたものである。庭に島バナナの木がある家庭も多く、購入するより自然と育った島バナナを食べることが多い。



安定した栽培が難しいことから、非常に高価。通常スーパーで販売しているバナナの10倍ほどの値がついている。

1本が手のひらサイズ！

¥800

### 小笠原種以外の島バナナ

東南アジア原産のアイスクリームバナナや、中南米原産のアップルバナナなどが栽培されている。また、三尺バナナや中間種といった品種も栽培されている。

### 味

キャベンディッシュより爽やかだが、小笠原種より甘味が強い。スイーツとの相性が良く、奄美大島のカフェではマフィンに使用されていた。

### 栽培

害虫、寒さ、雨、風に強いため、安定して生産することができる。**商業的な栽培が可能**であることが、小笠原種にはない強みである。

### 価格

安定して栽培できるため、キャベンディッシュよりは高いが小笠原種よりは安価で購入できる。そのため、「島バナナ」を冠した商品に使用されることの多い品種である。

## 結論

味に関してはそれぞれのバナナの良さがあるが、栽培、価格という視点で見ると、小笠原種以外の島バナナの方が扱いやすいことがわかった。しかし「島バナナを通して奄美大島を有名にしたい！」という島民の想いを考えると、やはり**長年親しまれてきた小笠原種を島バナナとして島外に広めたい**と考えた。そこで、生産拡大が難しい島バナナの知名度を島外に広める方法として以下を提案する。

- ① 安定した生産ができる小笠原種以外の島バナナやその加工品を島外に流通させることで「奄美大島＝島バナナ」の**イメージ定着**を図る。
- ② 同時に、**奄美大島本土でしか食べられないレアな品種**として、小笠原種を紹介することで奄美大島への観光を促進する。
- ③ 小笠原種を食べるために奄美大島を訪れる人が増え、島バナナを通して奄美大島を有名にしたいという**島民の思いの実現**に近づく。